

意外と知らない ニッチなトリビア

ト リ ビ ア 好 き の 案 内 豆 (?) 、
ト レ ピ ー ンズ 男 爵 。
小 粒 だ け ど 面 白い
豆 知 識 を 広 め て い ま す。

● ケーキの起源は古代ギリシャ。 昔のケーキは **甘くなかった?**

ウエディングケーキの由来は各地域の風習や神話など様々な説がありますが、古代ギリシャ時代のロードス島で作られていたのが最初だつ

SPICY
たというのが一番有名です。結婚式で参列者と一緒に食べるお菓子として、当時はなんと香辛料入りのスペイシーなケーキが使われていたそうデース。やがて、それが砂糖やバター、卵などを使うようになり、豊穣や繁栄、幸福など意味するぶどうなどの果物や、洋酒を加えた甘いケーキへと変化していったのデース。

18世紀頃になるとイギリスで、現在にするウエディングケーキのように、

「意外と知らないニッチなトリビア」では読者の皆様からのトリビアを募集しております。
なお、投稿はアンケートのほうにお願いします。皆様のご応募お待ちしております。

今回の「意外と知らないニッチなトリビア」はウエディング当日のハイライトに欠かせないウエディングケーキにまつわるトリビアをご紹介します。トリビアを知るって、とってもトレビーン!!

レース状の装飾を施したケーキが登場しました。最初は1段でしたが、19世紀頃になると2段、3段と高さのあるケーキも登場しまーす。ケーキの段が高くなった背景には、これから新しい人生をスタートさせる新郎新婦の幸福や繁栄の願いが、天まで届くようにとの思いがこめられており、またケーキをゲストに振舞うのは、その幸せを分かち合うという意味が込められていマース。日本のウエディングケーキの主流は、もちろんこのイギリス式の三段ケーキですが、アメリカでは長方形で高さのないケーキ、

フランスではカスタードクリームを入れた小さなシューを円錐型に積み上げた飾り菓子であるクロカンブッシュが使われていマース。

ちなみに結婚式当日の最大のシャッターチャンスであるケーキ入刀。海外では普通に

ケーキカットといいますが、「切る」や「カット」という忌み語を使わないのは、とても日本らしいですね。それでは、次回のトリビアもお楽しみに!! オ・ルヴォワール!!

※こちらで紹介いたしましたトリビアは一例ですので、地域によって異なる場合がございます。



MY Pleasure

For Our Pleasure
フェイク・クリーム・アーティスト
渡辺おさむさん

ウエディングをもっと素敵に!
オシゴト拝見
アーティスト
原 好美さん

フリープランナーの
喜ばれる結婚式3つのスパイス
フリーウエディングプランナー
黒沢祐子さん

Happy HANY
PAPER ITEMS
COLLECTION





sweet room 2001年

お菓子のモチーフを作品にデコレーションしていくアートで
独特の世界観を見せ、海外からも注目される
フェイク・クリーム・アーティストの渡辺おさむさんにお話をうかがいました。

試行錯誤で辿りついた、
「お菓子+フェイク・アート=ハッピー」の公式

美大に入って、自分なりの表現とは何だろうと
考えた時、自分のルーツとして母がお菓子づくりの
先生だったことや、おいしいスイーツを食べたときに
感じる幸せな気持ちだということに辿りつけました。
お菓子には、誰でも幸せな記憶を持っていると
思います。男女問わず、万国共通な特別感や
ハッピーな記憶が思い起こされる表現としてのフェ
イク・スイーツが誕生したのです。その幸せな記憶
が込められたクリームが増殖して、いろいろなものを
デコレーションし、世界を覆っていく…というのが
作品に一貫したテーマです。ウエディングも人生の
記憶に残る大切な一日となるので、コンセプトとし



sanctuary 2010年

幸せな記憶を思い起させ ウエディングとの思い掛けない接点

ては非常に自分の制作と近いものを感じます。

周囲では誰もやっていない表現だったので、
クリームはモデリングペースト(アクリル系絵の具の
画材の一種)、マカロンやアイスは紙粘土、ゼリー
は樹脂で…という具合に自分で色々と試行錯誤
して、表現したいものと最適な素材のマッチングを
考えてきました。「リアルな表現」とよく言われます
が、型や絞り器は実際の生菓子用の道具を使っ
ているものの、フェイク・スイーツのパーツは一から
作るので、実際のケーキを作るより制作時間はか
かります。年間を通じて、大小含め100点以上
制作しますので、ほぼ三日に一つの作品を作っ
ている感じになりますね。

「ハッピー」をキーワードに、積極的に様々な
分野とのコラボレーションに挑戦。

制限を作らない、というスタンスで活動をしている
ので、さまざまな商業分野で色んな商品のデザイン
に携わっています。今年の4~6月に岡山県の美術
館で展覧会を開催したのですが、美術館に隣接し
ているホテルと共同で私のアート作品をイメージした
メニューを開発し、販売させていただきました。

ウエディングは、記念すべき日として最高の一
日です。またお菓子の登場するシーンとしてはハッ
ピーの究極といえますので、是非とも関わってみた
いですね。最近、結婚式を挙げる人たちは、何かし
ら自分の思いを持っていたり、こだわりを反映した
い方が多いと聞きます。そういうムードにピッタリな
作品、たとえばドレスをフェイクのクリームでデコレ
ーションしたり…などというのも面白そうですね。最近
の自分の制作でも、フェイク・スイーツで装飾したティ
アラを作りました。これからは小物だけでなく

メニューから会場の
デコレーションまで
含めて、トータルで
ウエディングに関
わっていくのもやっ
てみたいですね。
実はファッション・デ
ザイナーの伊藤羽
仁衣さんと、あるお
仕事をきっかけに
仲良くさせていただ

きましたが、その時に「何か一緒にやりたいね」という
お話で盛り上がりました。羽仁衣さんのドレスは本当に
可愛いし、世界観も共通する部分があるので是非コラボできたらいいなと思っています。

20代の頃は、自分がハッピーと思えることにしか
目が行っていませんでした。でも、最近は作品を
観て感想をいただくことが多くなり、ありがたく、と
ても嬉しいと感じます。誰かが私の作品を見て、
ハッピーな気持ちになってくれること。それが、いま
の私にとってMy Pleasureです。

渡辺おさむ (わたなべおさむ)

フェイク・クリーム・アーティスト

お菓子をモチーフにしたアート作品を手がけ、国内外で注目を集める期待の若手アーティスト。雑誌「SWEET」「ELLE」などで取り上げられた他、伊勢丹など大手百貨店との商品コラボで話題を呼び、現在も様々な個展やグループ展などを精力的に活動中。2001年、京都アートコンペ2001・審査員特別賞、第19回「ひとつぼ展」入選、2005年ターナーアクリルアワード・審査員特別賞、2007年アミューズアートジャム2007in京都・審査員特別賞などを受賞。主なテレビ出演に「王様のブランチ」(TBS)、「NEWSリアルタイム」(日本テレビ)、「夢色パティシエール」(日本テレビ)など。



*アイリストとは?

アイリストとは、まつげのエクステンション施術のお仕事で、美容師免許が必要です。目元は非常に繊細な場所です。ですから技術はもちろんのこと、人によってはアレルギーを起こす可能性があるため、エクステンション用の毛の材質やグルー(接着剤)の成分、保護テープ、そして施術を行うためのツイーザー(ピンセット)などの吟味にも細心の注意を払っています。

またブライダルのお客様を手がけることも多く、その場合は3ヶ月以上時間をかけて、しっかりケアしていきます。一生に一度のことですから、普段の施術とは違い(ラインストーン、カラーまつげ、通常よりも長めのサイズのものを使ったり、つけるまつげの量も多めになる傾向があります。



上まつげカール、下まつげはNカールでデザインされています。

*仕事をする上で大切なこと

一番大切なことは、お客様とのコミュニケーションです。目の形は人によって違うので、同じデザインをして、同じ材料を使って施術しても、仕上がりは全く変わってきます。ヒアリングとイメージのマッチングがうまくいかず、施術後にイメージと違うといわれるのが一番悲しいので、とにかく事前のカウンセリングには力を入れています。お客様のオーダー通りに施術することは簡単ですが、まつげに負荷のかかる要望にはきちんとそのデメリットをお伝えし、異なる提案をします。口やかましいと思われても、一生のお付き合いがしたいと思っていますから、それぞれの材料のメリット・デメリットをしっかりと説明した上で、お客様に判断していただこうようにしています。

*これから目指すもの

ともと、美容に関わる仕事がしたい、そして早く独立したいという思いからアイリスト

ウエディングを
もっと素敵に/
オシゴト
拝見

一人でも多くの女性を美しくするため 研究を欠かさず日々全力を尽くす

ちょっと変化をつけるだけで、顔の印象がガラリと変わるまつげ。そのまつげを「舞台」に、最高の笑顔を作り出すアイリストの原好美さんにお話を伺いました。

になろうと決意しました。今はまつげのエクステ施術のみですが、将来は美容に関するパーソナルトレーナーとして、トータルビューティに関わる仕事をしていきたいですね。とともに美容師やエステをやっていたので、その知識はありますが、まつげに特化していくと、まつげ以外の美容に関する知識が遅れてしまいます。ですから今もトータルで美容を扱うことができるよう、日々勉強中です。



リラックスして頂ける様、
エステベッドに寝て
頂いて施術します。

*アイリストに向いている人は?

この仕事で大変なことは、ずっと同じ姿勢で、ツイーザーで細かいまつげを一本一本かき分けて施術していくので、とにかく肩がこることですね(笑)目も、しばらく遠くがぼやけてしまうくらい疲れます。ですが、お客様とのガールズトークは楽しいですし、施術後に鏡を見たお客様が、その日最高の笑顔を見せてくれたときが一番うれしいですね。また、エクステだけでなく美容業界は次々と新しい商材が出ていますので、常に最新の情報にアンテナを張り、自分や仲間と試しあうような探究心があるとより良いですね。

いつも仕事をしていて思うことは、人の幸せに貢献できる人間でありたいということです。忙しくなると見失いがちですが、これからもこの原点を忘れずに、お仕事に取り組んでいたらと思っています。



アイリスト
原 好美
(はら よしみ)

東京ピューティアート専門学校・美容科卒業、美容院、エステと美容関係の仕事をした後、まつげエクステのスクールに通い、有名エクステンションメーカー、ジエニファーラッシュに就職。その直営店にてアイリストデビュー。3年前に恵比寿にある完全予約制のまつげエクステサロン「アイラッシュサロンマナ」を立ち上げ、内面から美しい人を一人でも多く誕生させるため、日々奮闘中。
アイラッシュサロンマナ:<http://www.mana-lumi.com/>

3つのスバイス フリープランナーの 喜ばれる結婚式

ポイント

1 結婚式を挙げることの意味を必ず伝える!!

プランナーの皆さんには、積極的に「結婚式の意味を新郎新婦に伝えること」をして欲しいと思います。形ある物は常にその存在を感じることができます。しかし結婚式は、目に見えないもの。それもその日限りのことになると高額なお金を払うわけですから、その意味をきちんと意識するのとしないのとでは、同じ結婚式でもその価値や重みがまったく変わってしまいます。「本當はこうしたかった」「もっとこだわりたかった」という悔いを残さないためにも、まずは式を挙げるお二人に結婚式の意味をよく考えていただき、その価値を高めることの大切さを理解してもらうことがポイントです。

2 結婚式だけが、自分たちの意味で 「こだわりの感謝」ができる場と説明しよう!!

私は、初回の打ち合わせでは必ず、お二人に「結婚式は感謝の気持ちを伝える場」であると伝えています。ですから、二つ目のポイントは「感謝」です。結婚式はお披露目の場であるだけでなく、育ててくれた両親や支えてくれた人たちへの感謝の場です。親御様にとっては、「子育ての卒業式」でもあり、親としての節目の日となると私は考えています。

人生には大きく三つのセレモニーがあります。この世に生まれた時の誕生、結婚式、お葬式の三つです。このうち、生まれた時と言うのは自分では実感がありません。お葬式は、



新郎新婦からゲストへの気持ちとして
かすみ草の花言葉【感謝】をテーマにコーディネート

「ウエディングプランナーは、もっと素敵なお仕事のはず…もったいない!!」と、ご自身の結婚式の体験をきっかけに転職。以降はフリーとなって、こだわりの結婚式を手がけ、圧倒的に支持される黒沢祐子さんにお話を伺いました。

大切な方に見守られるかもしれません、自分自身はその場にはいません。結婚式だけが、自分たちの意思で、望み通りにできる式であり、同時に、感謝の気持ちを目一杯あらわすことが出来る場だと理解してもらわう。そうすれば、自分たちの結婚式はどういう感謝をしようか、ということも具体的にイメージしていただけるようになります。

3 思いを形にする 縁の下の力持ちの存在を常に意識しよう!!

最後のアドバイスは、「現場のスタッフとのコミュニケーションを大事にすること」です。お二人と打ち合わせを重ねた後、最終的に結婚式を形にしてくれるのは現場のスタッフたちです。縁の下の力持ちの存在を忘れないこと。そして、この仲間の気持ちをまとめ、盛り上げる配慮を欠かさないことです。スタッフとの意思の疎通を密にし、協力し合うことができなければ、新郎新婦はもちろん、ゲストに喜んでいただく結婚式はできないと思います。

いざ、プランナーになると、とにかくすべてのことを自分で手配しなくてはなりません。フリーになれば、なおのことです。私自身、ウエディングプランナーという仕事が生活そのものという毎日を送っています。日々支え、手を貸してくれる人たちがいる、ということに感謝の気持ちを忘れないよう心がけています。



海外では一般的な演出ブライズメイド＆ベストマン
彼女達の衣装は新婦自らがオーダーした

黒沢祐子(くろさわゆうこ) フリーウエディングプランナー

大学卒業後、自動車メーカーに勤める。24歳の時、自身の結婚式でウエディングプランナーという職業に出会う。「自分だったらもっとこうするのに…」という想いからレストラン・ホテル・ウエディングの企画・運営会社に転職。秘書を経て、念願のウエディングプランナーへ。2008年「いろんな場所でいろんな人のお手伝いをしたい」とフリーに転身。現在までに約700組のお客様を担当する。日本でのウエディングプランナーという仕事の楽しさをより広め、ステータスを高めたいという想いを胸に、多忙な日々を送っている。<http://yukokurosawa.com/>

HAPPY HANY PAPER ITEMS COLLECTION

「カワイイ」をキーワードに、若い人から圧倒的な支持を受けるブライダル・ファッショニエ・デザイナー伊藤羽仁衣さんとの夢のコラボレーションから誕生した「Happy HANY PAPER ITEMS COLLECTION」が登場!リリースにあたり、伊藤羽仁衣さんからメッセージをいただきました。



女性の憧れや、思い描いていた世界のすべてが、コンセプトごとに一つひとつちゃんとハマった、という手ごたえを感じました。大人っぽさの中にもどこか可愛らしさがあったり、お花をたくさんあしらってカラフルでキュートなものもあったりと、1つのアイテムに必ず、女性の大好きな要素や憧れが入るようデザインしました。

また子どもの頃から憧れていたDisneyさんと一緒に仕事をできたことが、最高に嬉しかったです。フルーティュとラバンは、同じ「カラフル」でも、パステル系とビビッド系という二つの花の種類で表現できましたし、Disneyさんのお力を借りることで、ストーリー性がより深くなつたので、是非注目して欲しいですね。

その時々、もしくは場所によっても、「着たい服」って変わりますよね。そのシーンに合わせて「自分だったらこんなデザインがいい」とか、「こんな場面で

お嫁さんが選びたいのは?」といつも私がドレスをデザインするのと同じ気持ちで招待状もデザインさせていただきました。それが目一杯、良い形で表現できたと思っています。

結婚式という最高の一日のために、準備に長い時間をかけますよね。一着のドレスを選ぶ、テーブルクロスの一枚を選ぶ、そういう楽しい時間が重なつて、最高の一になると思いますので、この招待状を選ぶ時間も、ぜひ楽しんでいただきたいです。



フルーティュ

女性に人気のティンカーベルをあしらっています。女の子らしく可愛く仕上りました。



ワール

HANYのドレスでもよく使われるオリボン。“縁を結ぶ”という意味とかけてエレガントで可愛らしいデザインに仕上りました。



ラバン

招待状ではアリスのストーリーを表現。ブーケ型のメニュー表でテーブルが華やかになります。



トワエモワ

HANYといえばやっぱりウエディングドレス。ご新郎様と腕を組んで振り返っている姿をイメージさせるポップアップ部分に注目してください。



ワルツ

お花や蝶、リボンといった、HANYのドレスに欠かせないモチーフが選べるタイプのデザインです!

